

○近畿ろうきん杯 第30回学童軟式野球兵庫県決勝大会出場

(9月19日(月・祝)・22日(木・祝)・24日(土)
加古川市・日岡山公園野球場ほか)



◎なお、米田少年野球クラブは、小野加東少年野球連盟会長杯争奪少年野球大会で優勝、闘竜少年野球クラブは、第31回全兵庫少年野球選手権大会で第3位の成績を収めています。

おめでとうございます



総務大臣表彰
(消防功労者)

加東市婦人
防火クラブ会長

友藤富士子さん
(西古瀬)

社柔道少年団 全国優勝



7月31日に東京都・日本武道館で開催された全日本少年少女武道錬成大会に社柔道少年団が出場し、見事優勝を勝ち取りました。優勝したのは柴垣璃来さん、森 俊士さん、古丸彩月さん、田中あいさん、中谷雅夢さんによる低学年チームで、練習の成果を発揮して全国の強豪をなぎ倒しました。なお、社柔道少年団から出場した高学年チームも堂々の全国ベスト8入りを果たしました。夢はオリンピック金メダルと話す選手たちに、今後の活躍への期待が高まりました。

加東といわき 野球で交流



8月18日、福島県いわき市の少年野球チームに所属するみなさんが加東市を訪れ、加東市内の少年野球チームと試合をしたり、一緒に

に食事をしたりして交流しました。

いわき市チームの来訪は、福島県の交流支援事業によるもので、昨年に引き続き2回目です。訪問先に加東市が選ばれているのは、震災直後から続く復興支援による自治体同士・住民同士の強いつながりからで、両市は様々な機会を交流を重ねています。

仲よく食事をしながら野球の練習法やそれぞれの方言について話す子どもたちの笑顔から、あたたかな友情が生まれたことが伺えました。

ありがとうございます



国際ソロプチミスト北播磨のみなさんから子育ての支援として3万円の寄附をいただきました。児童館の図書購入に活用させていただきます。

花火 加東の夜空染める



加東市花火大会



7月16日、平池公園で夏のフェスティバルが開催されました。地元の子どもたちによるステージや総踊り、花火大会などがあり、詰めかけた観客約3,000人が、平池に吹く涼風とともに、夏の風物詩を楽しみました。

8月3日には、東条湖特設会場で加東市花火大会を開催しました。直径約250mの大きさに開花する8号玉などの計1,500発が、夜空と湖面を彩りました。打ち上げは、夏まつりのうちわをデザインした滝野東小4年・土肥龍矢さんが点火ボタンを押してスタート。キャッチコピーの山・技・文化の文字や、市制10周年に因んだ10の文字などの型物が多く打ち上げられました。

湖上で繰り広げられる音と光のショーに、会場を埋めた約15,500人もの観客からは、拍手と歓声が上がっていました。

楽しく手話を体験



あと、自分が駒となって動く『手話すごろく』に挑戦。『好きな果物を覚えて表現しよう』『はく伝の助を手話で歌おう』などと書かれたマス目に止まるたび、子どもたちは歓声をあげて楽しそうに手話を披露していました。

社小5年の依藤真保さんは『はく伝の助』を歌うのは恥ずかしかったけど、手話がたくさん覚えられました。これからも手話を続けていきたいです」と話していました。

地域に届いた『ありがとう』の心



滝野南小学校の全校生178人が、クラブ活動や体験学習などでお世話になっている地域の方々に暑中見舞いを出しました。暑中見舞いは『楽しい学校生活は、支えてくれる地域の人たちのおかげ』と思い立った児童らが自主的に始めたもの。スイカを食べている児童の自画像とともに、日頃のお礼や健康を気遣うメッセージが添えられています。

国際交流をするクラブ活動の『ワールドクラブ』を支援している河高地区の北嶋照子さんには「暑さに負けずがんばって」と書かれたハガキが届きました。北嶋さんは「朝な夕なに家族で眺めて、元気をもらっています。児童たちを応援していきたい気持ちが強まりました」と喜んでおられました。

まちかど
トピックス

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387

最先端の練習法 感覚磨く



向上のためのポイントや練習法を同協会員や社高校陸上競技部員から教わりました。

指導種目は、短距離走・長距離走・ハードル・走り幅跳び・走り高跳び。短距離走では、オリンピック選手も取り入れている小さなハードルを利用した練習を体験し、素早く動く感覚を鍛えました。参加した滝野南小5年の堀田那津斗さんは「夏休み中も練習を続けて、記録を伸ばしたいです」と話していました。